

スポーツ川越

発行 川越市体育協会



第66回 川越市民体育祭 バasketボールの部より

スポーツの力

川越市体育協会 副会長 横田浩一



平成25年9月8日、午前5時20分、IOCジャック・ロゲ会長より「2020年東京」五輪開催地が放映され、感動・興奮が日本列島を駆け抜けました。JOC・パラリンピック招致活動に関わった人達のプレゼンテーションが、そして国民の祈りが結集され決定に繋がったと信じます。

今、日本を取り巻く経済環境は震災復興、未だ終息することの無い福島原発、そして欧州金融危機等取り上げれば幾多の問題が挙げられますが、震災以降「がんばろう日本!!」の声が各地で揚がりました。そのような状況下だからこそ人々の心を一つにし、勇気と希望を与えてくれる「スポーツの力」が国民から求められて居ると思います。昨年はスポーツ指導に対する現場での教育のあり方が問題視され、各プレスに取り上げられました。川越市体育協会では、

いち早くスポーツ指導者養成講習会を東洋大学、一川大講師をお招きし「教養・文化としてのスポーツの役割—スポーツがもたらす恩恵と弊害」についてご講演戴きました。講演による指導者が陥りやすい点として、感情的要因・視野の狭さ・責任回避・強制・制裁・思い込みなどを挙げられました。今後指導に対しては、熟知の上拘わるべきと感じた次第です。

スポーツ人口が増加するであろうこの時期に、今指導者が若い芽を育て支え、人と集い交流の楽しさ爽快感を周知して戴きたいとの想いは、関わる人達皆同じ想いと推察し、取り組んで参りたいと思います。

私が育った昭和の環境と大分変わって来ております。指導者の事故に対する責任が、問題にされるなど、子どもの向上心に影響しなければと危惧しております。

山本五十六の遺訓に「やってみて、聞いて聞かせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かぬ」の一文があります。打ち込める環境と選手・コーチの信頼関係が重要だと思います。

第66回 川越市民体育祭

剣道連盟

■日程：10月13日(日)
 ■会場：川越運動公園総合体育館サブアリーナ
 ■参加者数：159名



川越市議会大泉副議長の挨拶をはじめ開会セレモニーが行なわれました。小学生の部では、いい試合の連続で拍手喝采でした。高校、大学、一般の部では、親子、高年齢、同職場の各チームの活躍がとても印象的でした。審判長から『小学生の決勝は男女共接戦で基本ができています。一般の頑張り、強さは素晴らしい。』と講評を頂き生涯スポーツにふさわしい大会でした。

弓道連盟

■日程：9月23日(祝)
 ■会場：川越武道館 弓道場
 ■参加者数：212名

弓道は、年齢・性別を問わず楽しめ、競える武道です。人に勝つことより、自分に勝つ・誠を尽くす事が大切だとの教えがあります。静の中の動。弦を引き分け心を集中する瞬間。そんな一瞬に魅力を感じている人たちが集まっているのではないのでしょうか。今年も、例年になく高校生の参加が多く賑やかでした。高校生のはつらつとした射。的に中ると仲間からの「よしっ!!」という気合のこもった声。ピリッとした空気の中、和やかに競技が行われました。



クレー射撃協会

■日程：10月14日(祝)
 ■会場：ぐんまシャイアント総合クレー射撃場
 ■参加者数：23名



群馬県富岡市、ぐんまシャイアント総合射撃場、秋空の下で、クレー射撃競技が行われました。クレー射撃競技は標的の石灰とピッチで作られた円盤状のものを空中に飛ばし、これを散弾銃で射撃して、当たった数によって順位を争う競技です。瞬間の判断力と動作が要求される非常にスリルに富んだスポーツです。競技の種目としては、トラップ、スキート種目で行われました。

ライフル射撃協会

■日程：11月3日(日)
 ■会場：埼玉県長瀬総合射撃場
 ■参加者数：16名

紅葉の中、東京国体も行なわれた長瀬射撃場にて、ライフル及びピストル射撃競技の内、6競技が行なわれました。銃所持者に限られますので非常に少ない参加者ではありますが、熱のこもった有意義な大会となりました。将来的には、以前スポーツフェスティバルにおいても紹介した、資格、年齢制限もなく、国体競技でもあるビームライフル射撃の部を考えております。



体操連盟

■日程：10月5日(土)
 ■会場：川越運動公園総合体育館
 ■参加者数：85名



小学生を対象に、総合体育館を器械体操、新体操と2つに分けて実施しました。審査は、スピードと静止、バランスと柔軟性、筋力と技を基準とし、器械体操の跳馬では、小学生としては難度の高い「転回跳び」を演技する者もみられました。新体操では、個人と団体に分かれ、徒手と手具を用いた競技が公式試合さながらに行われました。市民体育祭は「美しい日本の体操」が目標です。

加盟団体紹介

柔道連盟



川越市柔道連盟は、高橋良雄会長を中心に、川越武道館において、年間六回の昇段・進級審査を行っています。

います。また、春には川越武道大会柔道の部、秋には川越市民体育祭柔道の部を開催しています。大会には地元の道場の小学生約二百名を中心に、中学生から大人まで参加して、盛大に行っています。柔道に少しでも興味のある方は、ぜひ気楽に参加してください。いっしょに柔道を楽しみましょう。

水泳協会



昭和23年川越遊泳協会として発足し、昭和26年に川越水泳協会と改称。子どもや女性を対象とした初心者

活躍する選手たち

なぎなた連盟



なぎなた連盟は今年、体育協会加盟24年、同好会が発足して32年を迎えます。同好会発足に尽力して下さった先輩方は大半が80才を超え、最高齢は大

スキー連盟



川越市スキー連盟は、昭和25年に発足し、昭和27年に川越市体育協会に加盟しました。現在、スキーを

ボウリング連盟



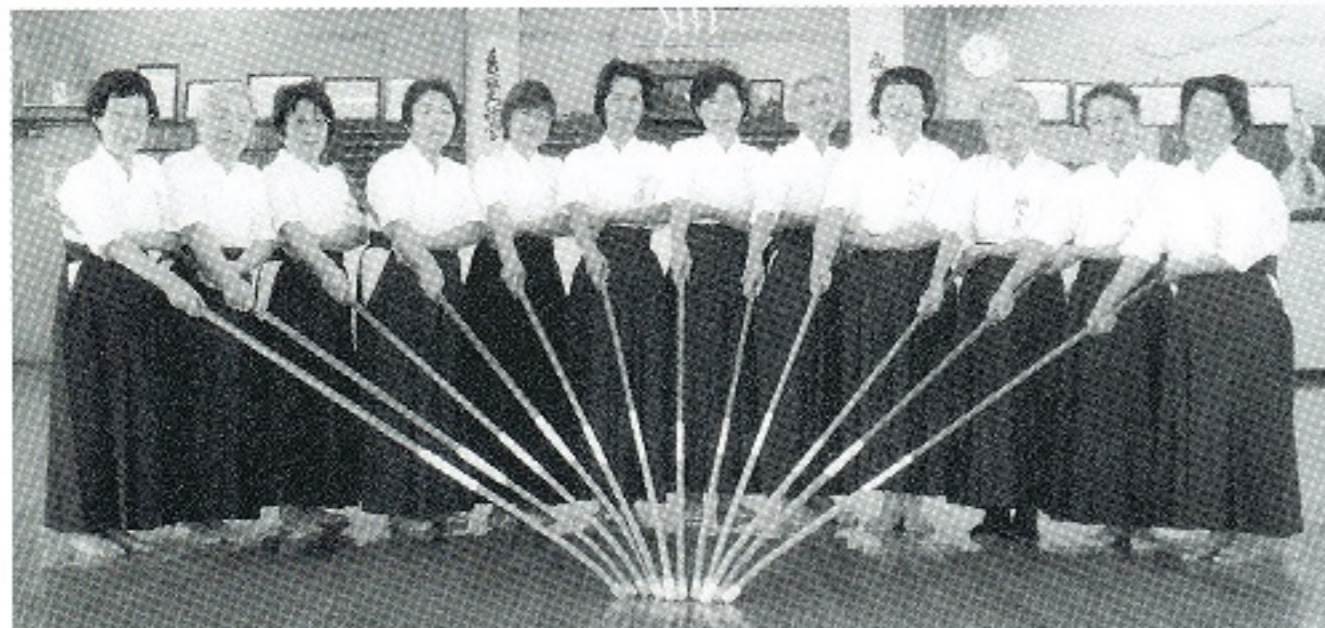
川越市ボウリング連盟の歴史は第35回市民体育祭からのスタートで、その後昭和60年に体育協会に正式加

愛好する10クラブで構成されており、総務、教育、競技の専門部会を設置し、運営及び事業を遂行しています。ジュニアスキー教室などの講習会や市民向けの競技会の開催、指導者の養成や国民体育大会及び県民体育大会への選手の派遣をとおして、スキーの普及と発展に努めています。

盟させて戴き現在に至っています。当連盟は真のスポーツとしてのボウリングをめざすボウラーの団体で、国体を初め、各種の全国大会への挑戦を目指すアスリートが、日々技術の向上に励んでいます。年間行事としてはビギナーボウラーが中心の市民体育祭と県民総体のコミュニティの部から構成されています。

正15年生まれの方もおります。今も尚、元気になぎなたを振っております。又ジュニアクラブには小、中、高校生と幼稚園児も在籍しており、市民体育祭では幅広い年齢層が入り混じって技を競い合います。なぎなたの競技は、二人一組で「仕かけ応じ」の形で技を競う「演技競技」と、防具をつけて戦う「試合競技」に分かれます。形を競う「演技競技」では、技の優劣とともに、お相手との呼吸を合わせることも勝敗の決め手となります。これは永年なぎなたを振つ

てきた80代の先輩方にはかないません。心を無にして体のどこにも力を入れずにじっくりお相手を見てその攻めに瞬時に応じる一連の動きには無駄がありません。又、ジュニアクラブの子どもたちは、自然体で素直になぎなたを振るので上達が早いです。「カッコ良く振ろう」とか「うまく見せよう」といった邪心がないので力みが感じられません。そして我々ミドル世代は先輩方を目標にして、背筋を伸ばし、フットワークの軽快さと体軸の安定を心がけて技と心を鍛えるお稽古に励んでおります。



普段は5つのクラブでそれぞれお稽古をしておりますが、年に2回「技術講習会」を開催し、なぎなた連盟全体でお稽古をしております。お稽古中は真剣で厳しく、休憩時間には談笑するというメリハリの中で異世代間の交流を深めております。

文部科学大臣表彰

生涯スポーツ功労者の

受賞にあたり

川越市体育協会副会長 関根友巳



この度、昨年10月11日に生涯スポーツ功労者として、文部科学大臣表彰を受賞しました。全国で136名(埼玉県で6名)という、限定された数の中での受賞でありました。これも一重に皆様方のご指導ご協力があったからこそと、感謝の念で一杯です。

振り返って見ますと、体育協会に席を置いて、早いもので約20年の月日がたちました。その間、人とのかわり、触れ合いが私を大きく成長させてくれたものと思っております。これからも微力ではありますが、賞に恥じない様スポーツの推進、体育協会の発展に力を注いで行く所存であります。簡単ではありますが、受賞に当たっての御礼の挨拶とさせていただきます。有難うございました。

第10回 川越市生涯スポーツフェスティバル 生涯スポーツフェスタ2013



平成25年11月3日(祝)川越運動公園を会場として「第10回川越市生涯スポーツフェスタ2013」が2,441名の参



加をいただき盛大に開催することができました。

子どもから大人まで、市民の誰もが気軽にスポーツを体験し、心身の健康増進と市民相互の交流を図ることが目的です。「ウォーキング」「綱引き」「体力測定」「ふれあい」と四つのコーナーに分かれ、けが人も出ず、無事に終了することができました。

ふれあいコーナーは全部で23コーナー、延べ6,606名の参加をいただきました。



連盟・協会 問い合わせ先一覧

団体名	連絡責任者	電話	団体名	連絡責任者	電話
野球連盟	和田昌男		体操連盟	大塚賢一	
卓球連盟	栗原裕子		小学校体育連盟	伊藤直仁	
ソフトテニス連盟	根岸とくよし		中学校体育連盟	小笠原嘉和	
バレーボール連盟	天沼忠一		高等学校体育連盟	皆吉純一	
バスケットボール連盟	加藤智哉		レクリエーション協会	小山久子	
サッカー協会	坂代あき生		バドミントン連盟	平岡かず子	
柔道連盟	及川まこと誠		少林寺拳法協会	坂上のみ宣	
剣道連盟	内藤つね常お夫		ソフトボール協会	あら新い井よし昭	
弓道連盟	うち内かわ河輝おみ臣		テニス協会	まつ松もと本まさ政	
空手道連盟	おが荻原ひで秀ゆき介		ボウリング連盟	わた渡なべ辺さだ貞お夫	
陸上競技協会	いわ岩せ瀬よし善ひ彦		なぎなた連盟	くり栗はら原あつ敦お子	
水泳協会	さ佐とう藤あきら明		ラグビーフットボール協会	さ佐とう藤しん紳	
スキー連盟	みや宮もと本かずひ彦		ゲートボール連合会	いわ岩がみ上たか隆お生	
クレール射撃協会	お小ばら原まさ征お男		グラウンドゴルフ協会	もと本おり居まさ政あき明	
ライフル射撃協会	にし西かわ川ひとし仁		ダンススポーツ連盟	きく菊ち地つね経かず一	
スケート連盟	おお大ぬき貫あきら了				